

《学校評価シート（高等学校）》

①

評価領域

特別活動部

| | | | | |
|--|-----------------------|--|---|---|
| ② | 重点目標 | ・集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 | | P |
| ③ | 現 状 | ・多くの生徒が生徒会活動や部活動、ボランティア活動、地域連携活動へと積極的に取り組むことで、主体性や協調性を身につけてきている。部員不足により活動が制限される部が複数ある。 | | |
| ④ | 具体的な目標 | ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築きながら、自主的・実践的な態度と礼節を重んじる心を育てる。 | | |
| ⑤ | 目標達成のための方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や委員会活動を、より一層生徒主体の活動としていく。 ・ボランティア活動や地域事業等との連携を活用していく。 ・生徒の活動を校外外に広く発信していく。 ・部活動をととして生徒の自主性と礼節を重んじる心を育成する。 | | |
| ⑥ | 具体的な取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続く中、関係分掌等の協力を得ながら全校鳥海登山や体育祭、仁高祭等、特別活動の各行事を実施することができた。 ・地域との協働委員会やBV会をはじめ、各科・学年・部活動が年間にわたってボランティア活動や地域連携事業等に取り組んだ。 ・生徒の要望等を受け、今年度新たに「総合運動、資格取得」の各同好会を立ち上げ、課外活動の活性化に努めた。 | | |
| ⑦ | 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を尊重しながら、各事業を遂行することができた。 ・部活動活性化は、更に対策を講じながら進めていく必要がある。 | | |
| ⑧ | 自己評価 | (評価) A | (根拠) ・部活動の運営には課題があるが、特別活動が核になって学校の活性化、地域連携に取り組んだ。特別活動関連の学校評価アンケート結果も高い評価結果となった。 | C |
| ↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない ↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない | | | | |
| ⑨ | 学校関係者評価と意見 | (評価) A | (意見) ・コロナ禍、各関係の協力を得ながら、他校にはない多岐にわたる魅力的な行事や活動、社会貢献に努力していることは評価できる。部活動の部員不足は課題だが、今後も様々な活動に取り組んでいくことを期待したい。 | C |
| ⑩ | 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・次年度から運用となる「特別活動の学習評価」を通して、生徒の主体性をより尊重できるよう、計画的に各事業を遂行していく。 ・各顧問の指導実践例を共有しながら、部活動間の連携した活動を図る等、組織的に部活動の活性化に取り組む。 | | |